

# 平成19年度農林水産祭（むらづくり部門）の選賞

## ○農林水産祭とは

農林水産祭は、国民の農林水産業と食に対する認識を深めるとともに、農林水産業者の技術改善と経営発展の意欲を高めることを目的に、昭和37年から「勤労感謝の日」を中心に各種催しを実施しています。

表彰の式典では、「農産」、「園芸」、「畜産」、「蚕糸・地域特産」、「林産」、「水産」及び「むらづくり（昭和54年度創設）」の各部門の最優秀者・団体に対し、天皇杯が宮内庁を通じて下賜されます。

去る10月16日（火）に農林水産祭中央審査委員会が開催され、各部門の天皇杯、内閣総理大臣賞及び日本農林漁業振興会会長賞が決定されました。

## 受賞一覧（むらづくり部門）

選 賞 名	都道府県名	市町村名	団 体 名
天 皇 杯	徳 島 県	美 波 町	伊座利の未来を考える推進協議会
内閣総理大臣賞	和歌山県	古座川町	古座川ゆず平井の里
日本農林漁業振興会会長賞	福 岡 県	二 丈 町	福吉地域づくり推進協議会

## 天皇杯受賞地区の紹介

～廃校問題をきっかけに全住民で取り組んだ多彩な交流活動～

徳島県美波町伊座利地区は、過疎化に伴う人口減少と共に子どもの数が激減し、地区内の小中併設校「伊座利校（通称）」統廃合問題が持ち上がりました。この廃校問題をきっかけに全住民が立ち上がり、平成12年「伊座利の未来を考える推進協議会」が設立されました。

同協議会は、「定住交流促進部」、「海の学校留学部」、「産業振興部」など11の部会を設置し、漁協、町内会、伊座利校など地区内総ての組織と連携しながら活動を行っています。さらに、関西や関東など地区外住民約600人で組織された「伊座利応援団」は、交流の輪を拡大させ、地区のサポート役を担っています。

漁業面では、アワビの資源回復を図り、漁期の出荷調整により市場への有利販売に繋がりました。近年では豊富に自生する海藻アラメに着目し、乾燥アラメの商品化を実現させ、新たな特産品として販売を始めました。



伊座利校に通う全国各地の転入者

また、伊座利校への児童生徒の転校を呼びかける漁村体験交流イベントを通じて、親子で転入する漁村留学では、全国各地から50人以上の生徒・児童の参加があり、地区への定住促進に繋がったほか、漁業への新規就業のきっかけを作るなど活力あるむらづくりを展開しています。



「おいでよ海の学校へ」漁業体験交流イベントの様子



新たな特産品の開発として、アラメ加工品の開発と販売を実現

## 平成20年度における農山漁村活性化プロジェクト支援交付金を活用される活性化計画の受付を開始します

### 交付金の概要

地方公共団体が地域の自主性と創意工夫により、定住者や滞在者の増加などを通じた農山漁村の活性化を図る計画「活性化計画」を作成し、国は、提出された活性化計画をもとに、その実現に必要な施設整備を中心とした総合的取組を交付金により支援します。

### 活性化計画の内容

活性化計画には以下の内容を記載しますが、詳細はホームページをご覧ください。

- 活性化計画に基づく取組の結果として実現されるべき地域の状態を記載
  - 活性化計画の目標は法律の趣旨に基づき、定住等及び地域間交流に係る事項（定住人口、交流人口など人に関するもの）を設定
  - 原則として定量的な指標を用いつつ、地域で適宜設定
    - ・ 交付金により実施する事業
    - ・ 交付金以外の関連する当省所管事業
    - ・ 地域独自の取組（県単事業、相談窓口の設置等）
    - ・ 既存施設の有効活用計画
- これらの取組の相乗効果によって実現される地域の状態を記載

### 平成20年度の「活性化計画」の受付期間

平成20年度の活性化計画の受付期間は、**平成20年1月15日（火）～2月15日（金）**です。事前相談も受け付けていますので、ご不明な点がございましたら気軽にご相談ください。計画の提出を予定されている計画主体は、お早めに農林水産本省担当まで提出して下さい。なお、提出前に計画主体は活性化計画及びその添付書類（農山漁村活性化プロジェクト支援交付金交付対象事業別概要並びに事前点検シート）の公表をお願いします。

### 「活性化計画」の提出先及び提出物

#### 提出先

農林水産省 大臣官房企画評価課 農山漁村地域活性化支援室  
〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

#### 提出物

提出書類は次のとおり公文（紙ベース）で提出してください。

- (1) 公文書
- (2) 活性化計画
- (3) 添付書類
  - [1] 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金交付対象事業別概要
  - [2] 事前点検シート

なお、公文書以外は電子ファイルを送付または電子メールで提出をお願いします。

※提出に関する詳細はホームページでも掲載しています。また、電子メールアドレスは下記にお問い合わせください。

### 【お問い合わせ】

農林水産省 大臣官房企画評価課 農山漁村地域活性化支援室  
TEL 03-3501-0814

<http://www.maff.go.jp/nouson/kasseika/index.htm>

# 子ども農山漁村交流プロジェクトの概要

## ～120万人・自然の中での体験活動の推進～

総務省、文部科学省、農林水産省は、3省が連携して、学ぶ意欲や自立心、思いやりの心、規範意識などを育み、力強い子どもの成長を支える教育活動として、小学校における農山漁村での長期宿泊体験活動を推進します。

今後、全国2万3千校の小学校（1学年120万人を目標）で体験活動を展開することを目指し、3省連携事業「子ども農山漁村交流プロジェクト～120万人・自然の中での体験活動の推進」により、3省一体となって推進を行います。

### 農林水産省

○子どもたち100人以上の受入が可能な地域づくりを全国的に拡大

- ・モデル地域（40地域）を核とした受入地域の整備に向けた総合的な支援
- ・受入地域情報等の情報提供・受入推進体制の整備等

環境省  
協力・支援

支援（モデル地区の整備支援、情報提供等）

農山漁村

1週間程度の  
宿泊体験

小学生約120万人を目標  
（約2万3千校で展開）

全国推進協議会

都道府県推進協議会

活動推進に向けて  
基本方針等を検討

宿泊体験活動の  
送り側、受入側の  
連絡調整  
（モデル連携）

受入地域の  
整備の推進に向  
けた連携

支援  
（情報提供等）

推進

小学校

支援  
（情報提供等）

支援（活動支援・  
情報提供等）

### 総務省

○地域の活力を創造する観点等から、長期宿泊体験活動の推進に向けた取組に対して支援

- ・受入地域のコミュニティ、市町村、都道府県等に対する支援（情報提供等）、気運醸成等
- ・地方独自の取り組みへの積極的な支援

### 文部科学省

○豊かな人間性や社会性の育成に向け、小学校等における長期宿泊体験活動の取組を推進

- ・長期宿泊体験活動を実施する小学校等に対する支援（活動支援・情報提供等）
- ・体験活動を推進するための課題等を検討

連携

### 【お問合わせ】

農林水産省農村振興局企画部農村政策課都市農業・地域交流室  
TEL 03-3502-8111（内線5447）

## 事務局からのお知らせ

- お詫びと訂正

季刊「新往来」第26号（平成19年9月15日）のp26 「里山で炭焼き体験をしよう！東京都青梅市」に誤りがありました。正しくは、「里山で炭焼き体験をしよう！東京都立川市」です。お詫びして訂正いたします。

- 皆様からの情報提供をお待ちしております！

「交流情報誌 季刊 新往来」は皆様からお寄せいただいた情報で構成されています。地域の自慢やイベントの案内など、全国に向けて発信したい情報がありましたら、ぜひご連絡下さい。

また、「廃校・廃庁舎などを有効活用した様々な地域活性化の取組事例」を募集していますので、みなさまからの情報をお待ちしております。

次号（第28号）の発行は、平成20年3月中旬を予定しておりますので、記入様式に必要事項をご記入の上、1月下旬までに各都道府県又は下記の編集・発行元までお送り下さい。記事に関連する写真・イラストがありましたら併せてお寄せ下さい。記入様式をご要望の場合は、お手数ですが下記の編集・発行元までご連絡下さい。

皆様からお寄せいただいた情報についてはできる限り掲載するよう努めておりますが、誌面スペースの関係上掲載できない場合もありますので、あらかじめご了承下さい。

- 編集後記

今号で紹介した「農林水産祭（むらづくり部門）」において、「古座川ゆず平井の里（和歌山県東牟婁郡古座川町）」が“内閣総理大臣賞”を受賞しました。

「古座川ゆず平井の里（農事組合法人）」は、特産物である“ゆず”の生産・加工・販売の一元化による地場産業の活性化に取り組んでいます。

また、当組合は6割が女性で、若い女性も経営に参加していることもあり、生き生きと仕事ができる環境の中、職場の活性化とともに、地域の活性化に貢献しています。

こうした地域の活性化は、“女性の参加”が重要な鍵となっています。

「古座川ゆず平井の里」の情報はこちらをご覧ください。

<http://www4.ocn.ne.jp/~yuzusato/>



写真：平成19年度農林水産祭（むらづくり部門）  
【内閣総理大臣賞】  
「古座川ゆず平井の里」のみなさん

### 編集・発行

農林水産省 農村振興局 企画部 農村政策課 農村整備計画調整班  
〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1  
TEL:03-3502-5946(ダイヤルイン)  
FAX:03-3595-6340



- 農林水産省のホームページでは、季刊「新往来」や都市と農山漁村の共生・対流など、様々な情報を掲載しております。ぜひご覧下さい。

農林水産省 (<http://www.maff.go.jp>) → 農村→都市農村交流の総合案内(季刊 新往来)  
(<http://www.maff.go.jp/nouson/seisaku/sinourai/index.htm>)